

# 西東京市 図書館だより

平成16年(2004年)1月15日

第12号

## 中央図書館

西東京市南町5-6-11  
(0424)65-0823

## 下保谷図書館

西東京市下保谷4-3-18  
(0424)21-3060

## 芝久保図書館

西東京市芝久保町5-4-48  
(0424)65-9825

## 谷戸図書館

西東京市谷戸町1-17-2  
(0424)21-4545

## 柳沢図書館

西東京市柳沢1-15-1  
(0424)64-8240

## ひばりが丘図書館

西東京市ひばりが丘1-2-1  
(0424)24-0264

編集・発行：西東京市図書館

ホームページアドレス <http://www.library.city.nishitokyo.tokyo.jp>

## 郷土人の講演会「トキく永遠なる飛翔く」

### 第一のふるさと

私は、昭和18年(1943)旧田無市に生まれた。早稲田大学を卒業するまで、高校・大学では生物クラブに所属して野鳥の調査、保護、研究に組んだ。

小学校時代のことは、新学期は教室にたまった畑の土埃の掃除から始まったことなどを思い出す。夏休みにはキツネ山と呼ばれた雑木林へクワガタやカブトムシを採りに行った。ニラを巣穴に差し込んでハンミョウの幼虫採りもした。まさにいきものとの遊びであった。

大学では自然地理を学んだ。卒業のため市内全域をくまなく調査したが、当時の田無は都市近郊農業の地であった。

### 少年時代の心、そのままに

中学校時代、通学路にある小鳥屋さんで極彩色の小鳥、アフリカ原産のコキンチョウと出会った。高価な鳥のためおこずかいで買うことはできなかったが毎日のように通い続けた。すると店のおじさんから、「卵が産まれたら卵を譲ってあげよう」という嬉しい言葉をもらった。こうして産まれた3個の卵を譲り受けて孵

化させ見事成鳥に育て上げた。

高校時代の春休み、自宅で見かけたキセキレイの澄んだ声と美しい羽根の色に野鳥への関心を強くもった。野鳥の研究をしている生物部に入り、日本野鳥の会にも入会した。そこで第一線の鳥類学者、中西悟堂氏や、後年、佐渡トキ保護事業に携わる契機となる高野伸二氏と出会った。高野氏から品田穰氏へ紹介され、新潟県佐渡トキ保護センターに勤務することとなった。

### 第二のふるさと

保護センターはトキの人工繁殖を目的とし、昭和42年(1967)新穂村に開設された。開設に合わせて佐渡での仕事が始まった。

昭和56年(1981)佐渡に生息していた最後の野生トキ5羽を捕獲し、人工飼育下に移した。時を同じくして、中国での野生繁殖が確認され、日中共同でのトキ保護事業が始まった。中国から来た雄のホアホアと、日本産最後のトキである雌のキンとで繁殖を試みたが成功しなかった。

### 予測していなかったキンの死

10月10日、中国から帰国したその足で、講演会の打合せのために西東京市図書館を訪問した。

中国へは野生のトキを見るための旅だった。今中国では280羽まで増えている。帰巢する姿を見ていたら、

★声の広報をお届けしています

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら  
谷戸図書館(☎21-4545)・柳沢図書館(☎64-8240)へお問い合わせを